

2025年度春季全国大会における新ルール等の対応について

① 30秒・20秒について

A区分 35秒／25秒 B区分 28秒／18秒 C区分 30秒／20秒
(次年度以降E区分について 28秒／18秒)

② 予選リーグの順位決定について

アクアの競技規則変更にしたがうものとする。具体的には勝ち点が同じチームが3チーム以上並んだ場合、①当該チームの勝ち点②当該チームの中での得失点差③同じ場合は総得点の多いチーム、という順で決する。従来は、最上位1チームが抜けた後、当該チームの対戦に戻っていたが、今年度は当該チーム間の得失点差で決することになる。ブロック予選会では、要項作成段階および競技会実施段階でどのような順位決定をするのかあらかじめ確認をして大会を行うように留意してほしい。

③ 予選リーグでのP S戦について

アクアでは引き分けの場合、引き分けとして扱いP S戦を実施しないことを検討しているが、ジュニアオリンピックでは強化を考え、従来通り引き分けの場合、P S戦を行う。

④ チームの人数およびGKの扱いについて

新ルールでは14人でGK2名となっているが、ジュニアオリンピックではE区分高校女子を含め15名で統一する。またGKについては従来のジュニアオリンピックローカルルール通り、ピリオド間、タイムアウトなどゲームが止まっている時のみGKと任意のFPの変更を認める。また、新ルール適用に伴い、2番から15番について赤帽子を用意できていれば、ベンチで赤帽子をかぶれば、適宜交代が認められることになる。また、GKは必須なので、怪我などがあった場合でもゲーム開始前にGKは用意しなければいけない。

⑤ その他のルール変更について

審判講習会などの通り、競技場のコートサイズ、タイマーに関わらないルール変更は実施していく。

⑥ ボール

現状、日本水泳連盟公認球を使う方針。具体的にはミカサとなるが、今後ミカサのボールが入手できない、新たなボールが公認球となるなどの状況に合わせ臨機応変に対応する。

⑦ 小学生区分のPT・フリースローシュートについて

PTを4Mで実施する。全国大会ではコーンなどで簡易的に4Mを示す。またフリースローシュートは5Mより可能とし、ペナルティエリアを5Mと解釈してゲームを行う。